



# ふじみ自然塾だより

2021.7.20

第18-1号

発行；富士見市民大学  
ふじみ自然塾  
編集；同 企画運営スタッフ  
発行日；不定期

## 1. ふじみ自然塾 開講

6月19日10:00から南畑公民館会議室において、第44期市民大学ふじみ自然塾を開講した。

受講のしおりにもとづいてオリエンテーションを実施し、講座時の注意事項や、コロナ対策のため施設の利用制限・雨天時等に伴う講座内容等の変更などについて説明した。さらに、無肥料自然栽培・有機栽培などの概要説明、実習農場と特別研修コースについて紹介した。

また、受講の動機やこれから始まる講座に対する希望など、アンケートを記入いただいた。

## 2. 農場実習(キュウリ苗の植付)

関東甲信地方は14日に最近10年で一番遅い梅雨入り。開講当日も朝から雨、スタッフが農場を見てきたが泥濘状態で、あらためて農業実習は来週に順延と説明したが、「どうしても今日」との希望があり。先生に相談すると「対応します」との由。幸い雨も小雨となり実習農場へ向かう。

第1実習農場で先生と合流し、自己紹介を行ってから、キュウリ苗の植付を行う。先生から「苗が小さいので丁寧な扱おうよ」との注意があり、先生の実演・指導の後、皆で1株ずつ慎重に丁寧に植付けた。

その後、営農用農場を見学させていただく。営農用農場では、ハウス栽培のトマト、露地栽培のトマト・ナス・キュウリなどを見学した。見学後、プラムを各自3個ずつ収穫し、その場で賞味。「甘い!」「美味しい!」など歓声が上がった。さらに、別品種のプラムを1個づつい

## 3. 第2回講座(合同講座) 大豆の種まきほか

7月17日14:30~17:00に渋谷農園で大豆の種まき、実習農場で春・夏野菜の収穫・手入れなどを行った。

7月3日・10日は雨天や畑の状況などで中止。16日に梅雨明けとなったが、15日に強い降雨があり、実習農場の耕耘・畝作りが不可能なため、育苗用セルに大豆の種をまくことになった。

種まき用土は渋谷農園の畑土を用いることになり、ハウス前の畑の表土を小型耕耘機で粉碎し、さらに足で踏んづけ細かくし、それをセルに盛る。そこへ種大豆を1粒ずつ置いて指で押し込む。下に硬い土の塊があると、なかなか押し込めず難渋する。指先が痛くなり、指を変えながら押し込む。表面の土を均し、何とか、720粒分の種まきを終了。水やりを行い、作業が終了した。

その後、実習農場へ移動し、枝豆・大根・ミニトマト・



写真①；オープニング



写真②；キュウリ苗植付の実演

いただいた。

農場見学終了後は、また降り出した雨の中、渋谷邸の庭で質疑応答。まだまだ質問したい方がおられたようであったが、質問を打ち切り15:30に散会した。



写真③；大豆の種まき

キュウリ・ふだん草などを収穫した。また、オクラの補植、万願寺トウガラシの支柱立て・誘引、キュウリ・ナスの誘引などを実施した。

収穫した野菜類は、お土産として、皆で分配した。